



山口きずな音楽祭
プロジェクト

YAMAGUCHI KIZUNA MUSIC FESTIVAL

山口きずな音楽祭

歌の 灯

詩人中原中也の世界を表現する中井智彦。
中也の命日でもある10月22日前後に開催する「歌の灯火」を、
特別に宇部市「明德」で開催します。
中井智彦の音楽と明德の美食で、
心に灯火がともる時間を、一緒にしませんか。

2026.10.20 TUE

先着 39名

お食事 19:00～20:10

公演 20:10～21:10

プログラム

「サーカス」「幻影」(詩人・中原中也の世界より)
「愛せぬならば」(美女と野獣より)
「幸せはすべての人に」「きずな」他

料 金

22,000円 (お食事、お飲物、公演含む)

会 場

明德 山口県宇部市中央町1-7-11

【お申し込み】

明德

TEL 0836-35-6766



東京藝術大学卒業。2007年『レ・ミゼラブル』で初舞台を踏む。
2010年から5年間、劇団四季に所属し『美女と野獣』(野獣役)
『オペラ座の怪人』(ラウル役)ではそれぞれ500ステージを務める。
2016年には作曲・演出も手がける一人舞台『詩人・中原中也の
世界』を発表。2019年より『歌の灯火(おさとかえり)』『中井
智彦』Presented by 山口きずな音楽祭』に出演。2025年には、
脚本・演出も手がけた音楽劇『生きるということ〜中村哲医師が
示した真心〜』を発表するなど、自ら作品を創り出す表現者とし
ても活動を展開している。主な出演は、舞台『ビリー・エリオット
〜リトル・ダンサー〜』『ジェーン・エア』『ムーラン・ルージュ!ザ・
ミュージカル』『ミセン』『わたしの書、頁を図る』。神奈川県出身。

オフィシャルウェブサイト&ファンクラブ

<https://www.nakaitomohiko.jp>

中井 智彦 Nakai Tomohiko
ミュージカル俳優・歌手・表現者



北海道出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科ジャズ専修卒業。
ミュージカル、ポップスを主軸とし、幅広いジャンルで作曲・編曲、
演奏、レコーディングに携わる。特に近年は、指揮およびキー
ボードコンダクターとして数多くの舞台・ミュージカル作品に
参加。主な参加作品は、舞台『千と千尋の神隠し』『キングダム』、
ミュージカル『十二国記』、『この世界の片隅に』、『next to
normal』、『のだめカンタービレ』、『GREASE』など。また、オリジ
ナル作品の制作にも力を入れており音楽劇『生きるということ
〜中村哲医師が示した真心〜』の作曲を担当。

長濱 司 Nagahama Tsukasa
作編曲家・ピアニスト



1907年4月29日、山口市湯田温泉生まれ。小学校高学年より
短歌を制作。文学に熱中するあまり山口中学校を落第し、京都
の立命館中学へ転校。ダダイズムの詩を書き始め、富永太郎
からフランス象徴詩を学ぶ。1925年に上京し、小林秀雄、河上
徹太郎、大岡昇平らと交流しながら、詩や翻訳・評論を発表。
生前の著作に第一詩集『山羊の歌』(1934年)の他、ランボーの
翻訳詩集3冊がある。1937年10月22日、鎌倉で死去。享年30歳。
翌年、友人たちの手で第二詩集『在りし日の歌』が刊行された。

中原 中也 Nakahara Chūya
詩人

